

2018 年台湾日本語教育国際シンポジウム議程

主題 アクティブトランジションのための日本語教育を目指して

(探討以有效接軌職場能力為標竿之日語教育)

場 所:淡江大学驚聲国際会議センター(驚聲ビル3階)(新北市淡水區英專路151号)

時 間:2018年12月1日(土曜日)08:30-16:40

申し込みサイト: <https://goo.gl/AHtNk2>

12月1日(土曜日)	
08:30-	開場 受付 驚声国際会議場前(驚声ビル3階)
09:00-09:10	開幕式 開会の辞 司会者 王 天保 (台湾日本語教育学会事務局長) 曾 秋桂(台湾日本語教育学会会長) 吳 萬寶(淡江大学外国語学部部長) 松原 一樹(公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所広報文化部長)
09:10-09:50	驚声国際会議場(驚声ビル3階) 基調講演1 司会者 頼 振南(輔仁大学教授兼学部長・台湾日本語文学会理事長) 講演者 石田 佐恵子(大阪市立大学大学院文学研究科教授) テーマ デジタル化時代のマンガと読者の時間
09:50-10:00	ティータイム
10:00-10:40	基調講演2 司会者 于 乃明(政治大学教授兼學位學程主任) 講演者 申 忠均(韓国日本語文学会会長・全北大学校教授) テーマ 韓国における日本語教育とアクティブトランジション ー日本語教育史から考えるー
10:40-11:20	基調講演3 司会者 林 長河(銘伝大学教授兼学部長) 講演者 栗田 佳代子(東京大学大学総合教育研究センター准教授) テーマ アクティブラーニングを実践するには ー主体的な学びの場を支える基礎と実装のアイデアー
11:20-12:00	基調講演4 司会者 頼 錦雀(東呉大学教授) 講演者 檢校 裕朗(韓国日語教育学会副会長・極東大学校教授) テーマ 韓国の日本語教育の変化とアクティブトランジション

12:00-13:00	<p>1. 会員大会(鷺声国際会議場) 2. ポスター発表(鷺声ビル3階) 3. 昼食(T310、T311)</p>		
12:00-13:00	<p>ポスター発表(鷺声ビル3階) 司会者 楊 琇媚(南台科技大学副教授) ① 陳 郁文(銘伝大学修士課程) 許 均瑞(銘伝大学副教授) 異文化適応段階から見た学習意欲と成果との関連性 —大学学部に所属する交換留学生を対象に—</p>		
13:00-13:05	鷺声国際会議場	T310 教室	T311 教室
	コメンテーター兼司会者 蘇 文郎 (政治大学兼任教授)	コメンテーター兼司会者 林 慧君 (台湾大学教授)	コメンテーター兼司会者 楊 錦昌 (輔仁大学教授)
13:05-13:25	賴 錦雀 (東呉大学教授)	中澤 一 亮 (元智大学副教授)	奥村 訓代 (高知大学教授)
	異文化交流能力育成のための教育とその教材開発について—中日翻訳授業を例として—	拡張現実ゲームプラットフォーム「ARIS」の日本語教育における可能性	アクティブトランジションとしての日本語教育
13:25-13:45	落合 由治 (淡江大学教授)	城戸 秀則 (東呉大学博士課程)	葉 斐 (淡江大学助理教授)
	AI 研究の基本的方向性についての考察—日本語教育教育の革新の可能性を探る—	期間を表すテイルの用法	村上春樹『騎士団長殺し』における職業画家とその語り
13:45-13:55	質疑応答	質疑応答	質疑応答
13:55-14:00	コメンテーター兼司会者 范 淑文 (台湾大学教授)	コメンテーター兼司会者 王 世和 (東呉大学教授兼国際長)	コメンテーター兼司会者 陳 淑娟 (東呉大学教授)
14:00-14:20	曾 秋桂 (淡江大学教授)	廖 育卿 (東呉大学博士課程)	郭 淑齡 (玄奘大学助理教授)
	グローバル時代のエコフェミニズムの視点から読む津島佑子の『ヤマネコ・ドーム』—許しの文学の誕生—	アクティブ・ラーニングを取り入れた自律学習指導の事例研究—学習者の学びの認識をめぐって—	ポートフォリオを取り入れた学習の評価の試みについて—日本語プレゼンテーション授業を通して—

	邱 若山 (静宜大学教授)	堀越 和男 (淡江大学副教授)	大谷 鉄平 (長崎外国語大学特任講師)
14:20-14:40	『雲の墓標』論—阿川弘之 が描いた戦時下の青春—	上級日本語学習者の否定 的感情と学習意欲との関 係	商用的機能を有する「お なじみ」と「ご存じ」— 日本語リテラシー教育の ための1事例として—
14:40-14:50	質疑応答	質疑応答	質疑応答
14:50-15:00	ティータイム		
15:00-16:00	<p>パネルディスカッション(驚声国際会議場)</p> <p>主 題 アクティブトランジションのための日本語教育を行う際の現状と問題点</p> <p>司会者 曾 秋桂(淡江大学教授兼学科主任・台湾日本語教育学会理事長)</p> <p>パネリスト① 横路 啓子(輔仁大学教授兼学科主任)</p> <p>パネリスト② 蘇 克保(東呉大学副教授兼学科主任)</p> <p>パネリスト③ 朱 秋而(台湾大学教授兼学科主任)</p> <p>パネリスト④ 蔡 豊琪(銘傳大学副教授兼学科主任)</p> <p>パネリスト⑤ 李 偉煌(静宜大学副教授兼学科主任)</p> <p>パネリスト⑥ 石田 佐恵子(大阪市立大学大学院文学研究科教授)</p> <p>パネリスト⑦ 栗田 佳代子(東京大学大学総合教育研究センター准教授)</p> <p>パネリスト⑧ 申 忠均(韓国日本語文学会会長・全北大学校教授)</p> <p>パネリスト⑨ 検校 裕朗(韓国日語教育学会副会長・極東大学校教授)</p> <p>パネリスト⑩ 奥村 訓代(日本比較文化学会前会長・高知大学教授)</p>		
16:00-16:30	ディスカッション		
16:30-16:40	<p>閉幕式及び選挙結果発表 驚声国際会議場</p> <p>曾 秋桂(淡江大学教授兼学科主任・台湾日本語教育学会理事長・ 村上春樹研究センター長)</p>		
17:30-19:00	懇親会(福格大飯店 淡水區学府路89号17階白金庁)		

主 催 淡江大学日本語文学科・台湾日本語教育学会・淡江大学村上春樹研究センター
助 成 科技部・国際交流基金

後 援 韓国日語教育学会・日本比較文化学会・台湾日本語文学会・瑞蘭国際出版社